

このページは、直接入力はできません。そのまま見るか印刷して使ってくださいね

おもしろ国語③8

読んでみよう おぼえよう

徒然草
しれづれなむね

吉田 兼好

つれづれなるままに

日へらこ

すずりに向かひて
む いて

心にうつりゆくよしなしごとを

そこはかたなく書きつくれば

あやしうこそ
じふて ものぐるほしけれ
お

奥の細道
おく ほそみち

松尾 芭蕉

月日は
はくたい 百代の過客にして
かかく

行き交ふ年も
ゆきこうも また旅人なり

船の上に
ふねのうへに 生涯を浮かべ
しゆがいのう

馬の口とらへて
うまのくちとらえて 老いを迎ふる者は
おおいをむかふるものは

日々旅にして
ひびよるに 旅をすみかとする